

## FAQ

## Q. 採用後は必ず児童相談所での勤務ができますか？

A. 採用後の配属先は、本人の希望や適性などを考慮して決定されますが、児童相談所とは限りません。また、採用後は数年のローテーションで人事異動があります。児童相談所以外の各専門職の業務内容等については、特別区人事委員会ホームページをご覧ください。

## Q. 文京区には職員住宅はありますか？

A. 区内に防災職員住宅があります。災害時などに防災業務についていただくことが条件となりますが、空室があれば入居可能です。また、自分でアパートなどを借りた方には、住居手当の支給があります。

## Q. 児童相談所が建設される場所を教えてください？

A. 建設地住所は「文京区小石川三丁目14番」です。令和4年度に既に建設工事に着手しており、令和6年度に建物が竣工し、令和7年度に開設する予定です。場所は、文京シビックセンター(区役所)から徒歩約10分程度です。

## Q. 文京区在住でない場合、受験に不利ですか？

A. 各試験区分の受験資格が満たされていれば、住所、年齢、学歴等について、合否に影響ありません。文京区職員のうち、文京区内在住者は約2割です。神奈川県、埼玉県、千葉県から通勤している職員も多くおり、全国各地から職員を採用しています。

## Q. 児童相談所の運営に携わっていく職員は福祉職・心理職に限られますか？

A. 児童相談所・一時保護所では、福祉(保育士・福祉・児童指導員)、心理のほか、事務職、栄養士、保健師、看護師等の様々な職種の職員が連携して運営に携わっていくことになります。



## 福祉職・心理職の公務員を目指す方へ

文京区は令和7年4月1日に児童相談所を開設する準備を進めています  
子どもの最善の利益を守る—それが児童相談所の使命です—

そんなあなたの力を求めています

子どもの笑顔を守りたい



本区の児童相談所の準備状況についてさらに詳しく知りたい方は児童相談所準備担当までお問い合わせください。

文京区子ども家庭支援センター 児童相談所準備担当  
TEL. 03-3812-7111(代表) / 03-5803-1914(直通)

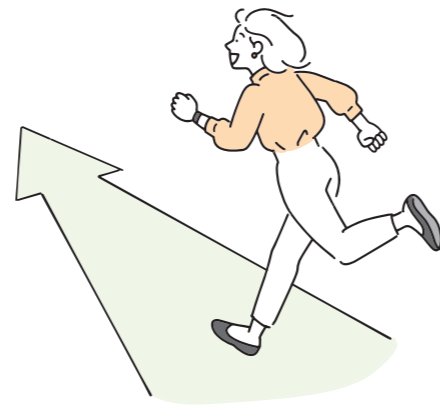


<https://www.city.bunkyo.lg.jp/kyoiku/kosodate/jisou.html>



## 文京区の福祉職について

文京区の福祉職は、これまで高齢福祉、障害福祉、生活福祉、教育センター、保育園、児童館・育成室、子ども家庭支援センター等の分野で業務をしてきましたが、児童相談所の開設により、更なる活躍の場が広がります。多様な経験を積みながらキャリアアップができる、それが文京区の福祉職として働く魅力です。



## 文京区の心理職について

文京区の心理職は、これまでの主な配属先である教育センターや子ども家庭支援センターに加え、児童相談所という新しいフィールドができます。児童相談所では、愛の手帳(療育手帳)の判定や子どもや保護者等に対する心理診断など専門性の高い業務も経験することができます。専門性を磨くとともに、教育、福祉、医療など多職種の人と連携できる、それが文京区の心理職として働く魅力です。



### 採用試験・選考

福祉職・心理職に関する採用試験には、特別区人事委員会が実施する福祉Ⅰ類・心理Ⅰ類、経験者採用選考、文京区が実施する福祉Ⅱ類(保育士・児童指導員)があります。試験・選考の募集案内や実施状況等については各採用試験の最新の情報をご確認ください。

#### ▶ 特別区人事委員会ホームページ

<https://www.union.tokyo23city.lg.jp/jinji/jinjiinkaitop/index.html>



#### ▶ 文京区総務部職員課ホームページ

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/kusejoho/shokuin-bosyu/shokuin/saiyou.html>



#### ▶ 文京区職員採用案内

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/var/rev0/0294/7056/2024151823.pdf>



## 子ども家庭支援センター職員インタビュー

現在、文京区では児童相談業務を子ども家庭支援センターが行っております。今回はその業務に携わる新人職員の声をお届けします。

### ● 受験したきっかけ・志望理由

文京区は他自治体と比べてコンパクトですが、大学や病院、歴史的な文化財もあり、多くの観点からもとても魅力的であると感じていました。また令和7年度に設置が予定されている児童相談所の業務に携わりたいと思ったことも動機の一つです。

### ● 職務の内容

子どもや家庭に関する様々な相談業務を経験しています。一つとして同じ相談はないので難しさを感じることも多いですが、日々刺激を受け、やりがいを感じながら業務に当たっています。児童福祉に関する研修も多く、学びになることが多いです。

### ● 福祉職公務員を目指す方へ

多くの葛藤や悩みを抱えた家庭に寄り添い、支援していくことは福祉職のやりがいであり、業務を通して自分自身の成長を感じることもできます。職員が一体なったより良い児童相談所の運営に向け、皆さんと働くことを楽しみにしております。



福祉・Ⅰ類採用

### ● 受験したきっかけ・志望理由

児童相談所を開設するということで、心理職として活躍できる場が広がり、多くの経験ができると考えました。また、文京区は特別区の中でもコンパクトな自治体であることから、学校や病院などの関係機関と連携し、子どもや家族をサポートすることができると感じて、受験をしました。

### ● 職務の内容

子どもの家庭での養育に関する相談を受けたり、児童虐待に関する相談について面談や家庭訪問を通じて、心理的観点から見立てや助言を行っています。また、保育園や幼稚園、学校などの職員に対してコンサルテーションを実施しています。

### ● 心理職公務員を目指す方へ

ご家庭によって考え方や価値観が違う中で、それぞれに合った支援の方法を考えています。学校や病院など様々な関係機関と連携して子どもとその家族をしっかり支え、家庭内の関係性が良くなること、また子どもたちの成長を実感できることにやりがいを感じると思います。皆さんと共に働くことができる日を楽しみにしています。



心理・Ⅰ類採用

※ご紹介したインタビュー以外にも、職員が受験のエピソードや職務内容、メッセージを掲載しています。興味のある方は右記QRコードより文京区子ども家庭支援センター児童相談所準備担当ホームページをご覧ください。



## 文京区が目指す新しい児童相談体制



(仮称) 文京区児童相談所完成イメージ図

### ◆ 区児童相談所設置に向けた考え方

基礎的自治体であるメリットを最大限に活かし、虐待の未然防止、虐待発生後の重篤化防止など、あらゆる施策を講じ、これまでの児童相談体制を更に強化します。

### ◆ 文京区が目指す支援

- ・母子保健から始まる切れ目のない支援
- ・子どもや家庭を中心とした関係機関連携による支援
- ・詳細な情報収集と適切な判断に基づく支援